

令和5年度

いわての学び希望基金奨学金等受給者から寄附者へのメッセージ

就職者

高等学校専攻科卒業 看護師

ご支援いただき、ありがとうございました。小学校の頃からの夢であった看護師学校に入学することができ、今このように看護師として働くことができます。東日本大震災を機に人を救う仕事がしたいと思うようになりました。ご支援のおかげで私は看護師になり人を助ける・救う側になれました。本当にありがとうございました。誰かの力になれるよう日々精進していきます。

大学卒業 情報通信業

寄附者の皆様、今まで多大なるご支援をいただき、誠にありがとうございました。

皆様の支援のおかげで4年間、自分の興味・関心のある学問を学ぶことができ、小さい頃からの夢も叶えることが出来ました。私は東日本大震災の津波で亡くなった母とのかけがえのない思い出を、とある映画で鮮明に思い出せた経験があり、そこから「自分も誰かにとってかけがえのない、大切な思い出になるような映像やクリエイティブを作る仕事に携わりたい」と強く思っていました。そして今、人の心を動かす起爆剤となるようなCMをプロデュースする仕事に就いております。

早く仕事を覚え、世の中の人々に響くカッコイイCMをプロデュースしたいと思っております。この道に進むことが出来たのも、大学に進学することが出来たからだと心から思っております。

改めまして、支援していただきありがとうございました。

短期大学卒業 金融業

私は地元に戻り、金融機関で働いています。少しでも地元へ貢献したり、地域の方の力になればと思い、少しずつですが頑張っています。短大での学びを活かしながら、日々学ぶことばかりで充実した生活を送っています。それも今まで支援していただいたおかげです。寄附して頂いたおかげで参考書などを購入して資格を沢山取ることができ、今とても役立っています。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも、地域のために一生懸命働いて地域貢献できるように頑張ります。今までありがとうございました。

大学卒業 獣医師

私は、「いわての学び希望基金」の方々から支援や温かな思いをいただき、夢を描くことができました。震災当時中学1年生だった私は、現在、獣医師として働いています。震災当時の私のように助けを求める人、動物に手を差し伸べ、親切、誠実、丁寧な診療を心掛けていきたいと思います。

これまで、皆様のおかげで学ぶことができ、人生の道を見つけられ、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

私の後に続き、現在も多くの学生がそれぞれの目標に向かって歩んでいます。微力ですが、今後は私も支援の輪を広げる活動に協力したいと思っています。皆様からいただいた温かな思いを、後輩たちに届けたいと思います。

寄附者の皆様、これまで支えてくださりありがとうございました。

大学卒業 公務員

まず初めに、これまで支援していただきありがとうございました。皆様のお陰で充実した学生生活を送ることができました。

大学生活では勉学を頑張るのは勿論なのですが、特に部活動を中心に頑張ってきました。体育会卓球部に所属し、高校時代にインターハイに出場できなかった悔しさから、目標を達成するために必死に練習してきました。結果としては目標を達成することはできませんでしたが、後悔なく最後の大会を終え、部活動を通して様々なことを学ぶことができ、晴れやかな気持ちで引退することができました。

今年の4月から社会人生活がスタートしました。新社会人になり不安と緊張の気持ちが大半でしたが、職場の上司の方々や同期に恵まれ、充実した社会人生活を送ることができています。まだまだやったことのない仕事も多く、仕事に完全に慣れたわけではありませんが、社会人としての自覚と責任を持って、これからも仕事を頑張っていきたいと思います。

私が今こうして充実した生活を送れているのは支援していただいた皆様のお陰です。改めまして、今までありがとうございました。

大学卒業 公務員

今年の3月に4年間の大学生活を終え、社会人として働き始めました。現在の仕事は国家公務員として公共事業の実施に必要な土地の取得業務を行っております。職場内では上司や同期に恵まれ、毎日楽しく仕事をすることができております。

今後も就職まで支援をしていただいたご恩を忘れずに、少しずつ恩返しができるように精進していきたいと思っています。本当にありがとうございました。

大学卒業 情報通信業

支援者の皆様、ご寄附をいただきまして誠にありがとうございました。皆様からいただいた資金は学習教材等に使用させていただきました。

2020年には新型コロナウイルスの影響を受け、大学の講義が対面からオンラインへと移行しました。快適な環境で学習するためにこの資金でノートパソコンを購入しました。このパソコンを使用し、講義だけでなく興味があったプログラミングに挑戦しました。これをきっかけにIT企業への関心が深まりました。

今年の3月に大学を卒業し、現在はIT企業で金融機関向けのシステムを作成しております。4月から6月末までは研修を受け、7月から本格的に働き始めました。まだまだ分からないことばかりで苦労していますが、良き同僚、良き上司に囲まれ充実した日々を送っております。

皆様のおかげでお金に心配することがない学生生活を送ることができました。今後は私が携わるシステムで社会に貢献できるよう努めてまいります。ありがとうございました。

大学卒業 介護職員

いわての学び希望基金には、震災後の小学校4、5年生あたりから大変お世話になりました。本当にありがとうございます。

震災直後にはわからなかった様々な事が今わかるようになって、この奨学金のありがたさが理解できるようになりました。震災から4年後に母を病気で亡くし、中学3年生で両親を失った私は、この奨学金を生活費や将来のための貯金にあてました。そして今、働きだしたからこそこの金額の大きさがよくわかります。

当時幼かった子たちは何もわからないまま大切なものを一瞬で失って、大きくなるにつれて理解し途方に暮れたとき、このような支援があるとその子たちの希望になると思います。私より下の世代の子どもたちが夢を叶えられるようにこれからも支援を続けていただけるとありがたいです。私も何か下の世代の方にはできることがあれば協力できたらと思っています。

約12年の間支援していただき本当にありがとうございました。この奨学金のおかげでここまでこれたと言っても過言ではないと思います。これからは社会人として生きていく身として恥の無いように生きていきたいです。また、困っていたり苦しんでいる人がいたら一緒に考えて解決できるような人にもなりたいです。本当に長い間支援ありがとうございました。

高等学校・特別支援学校高等部 3年生

私は今、薬剤師になるため薬学部への進学を目指し勉強に励んでいます。これからも受験本番に向けて、1日1日を大切に頑張ります。

震災当時、私は幼稚園の年中でした。幼く何ができるわけでもなく、どんどん進んでいく状況に呆然としていました。知り合いのいない小学校へ通うことになったときも不安でいっぱいでした。しかし、時間の流れとともにだんだんと気持ちの整理ができていきました。それは、私たち家族を支えてくれた親族や友人などの周りの方々、そして遠い地域の方々からの温かい援助のおかげです。

これからも感謝の気持ちを忘れずに頑張り、今まで皆さんからいただいたご恩を少しでもお返しできるように全力で夢に向かって進んでいきたいと思えます。ご支援本当にありがとうございます。

私は震災当時、幼稚園の年中でした。その年齢ではよく分からなかったことも多かったですが、当時のことは今でも覚えています。大変なことがたくさんありましたが、高校3年生になり、今は進学に向けて勉学に励んでいるところです。

将来の大きなビジョンは未だ明確ではありませんが、学びたい学問分野があります。これまでのたくさんの支援によってここまで成長できたことをとても感謝しています。これからも頑張ります。

「いわて学びの希望基金」に寄付をしていただき、ありがとうございました。

ぼくは支援学校で働く人になるために、作業学習など学校の勉強をがんばっています。

卒業後は福祉施設で仕事をがんばっていきたいと思えます。たくさんの支援をありがとうございました。

私は今、消防士となり人々を助けることと、地元の復興という2つの目標で勉強に取り組んでいます。東日本大震災の時の消防士の方々の素早い救助活動に感銘を受けると同時に震災で助けられた立場から助ける立場になり地域に貢献したいと思ったことが理由です。

私は震災で父を亡くしました。とても悲しく、幼稚園児ながら辛かったです。その時、私は今の大切さを知ると同時に、強く生きようとも思いました。また自分のように悲しい思いをする人をできるかぎり減らしたいと思ったのも、消防士になろうとしたひとつのきっかけでした。

私は大学に進学して、地域での課題、復興の知識や知恵を学ぶと同時に、地域について取り組んでいく積極性を学びたいと思えます。今私が自由に生活できたり、自由な道を選択できているのは「いわての学び希望基金」の支援があってこそだと思えます。そのような支援があるからこそ生活ができているということを忘れずに、必ず第一志望に進学して、消防士となって恩返しをしたいと思えます。

たくさんの支援ありがとうございます。

「いわて学びの希望基金」に寄附していただきありがとうございます。

今は、自分の希望する学校に入れるように、学校生活や勉強を頑張っています。私は将来美容師になりたいと思っているので、専門学校に入ってからも勉強や実技を頑張りたいです。

私は東日本大震災で母親を亡くしました。当時小学校入学前の小さい子どもだった私は、母親の死を受け入れる事が出来ず、毎日苦しい日々を過ごしていました。でも、その中でたくさんの人々に支援していただきすごくうれしかった事を覚えています。

これからは自分が支える側になって、たくさんの人を助けられるような人になりたいです。そして恩返しをできるように生活していきます。本当にありがとうございます。

長きにわたって支援して下さることにに関して、言葉では表せない程に感謝しています。東日本大震災で母を亡くしてから、父と私は実家に住まわせてもらい生活を始めました。父はいつも私には笑顔を見せてくれていましたが、内心は抱えきれない無力感と悲しみにあふれていたと思います。当時を改めて振り返ると、私を含めた家族を養うために叔父と二人だけで稼いでいたので、相当な疲労もあったはずですが、もしこの基金がなければ私たちの生活は大きく変わっていたでしょう。好きなスポーツのクラブや部活動にも参加できなかったかもしれないことや、学校に通うことも難しくなっていたかもしれないことを考えると、この基金が私たちにもたらしてくれたことの大きさがひしひしと感じられます。

私は今、高校三年生で大学受験を控えています。志望校に合格して、材料科学を学び、社会に貢献できる新物質を発見したいです。

今まで私たちの生活を大きくサポートしていただき、本当にありがとうございました。

奨学金を寄附してくださっている皆さま、本当にありがとうございます。

私は東日本大震災で父親を亡くし、辛い日々を送っていましたが世界中の方から支援を受けることで、生きていくことができました。

私は高校生活で部活動に力を入れてきました。陸上競技部に所属し、種目は短距離走をしていましたが走り幅跳びにも挑戦し、先輩や先生に教えてもらい練習をしました。大会で良い結果を残すことはできませんでしたが、新しいことに挑戦することができました。

私は将来スポーツ栄養士になりたいと思っており、栄養について学べる大学に進学しようと思っています。スポーツをすることが好きなので、大学でも何かスポーツをしようと思っています。将来は、たくさんの方の役に立てるスポーツ栄養士になれるよう頑張ります。

奨学金を寄附していただきありがとうございます。寄附していただくことでサッカーや勉強などを頑張ることができています。

高校卒業後は、県外の大学へ進学します。経済について学び、将来は銀行員として働いていきたいと思っています。寄附してくださったおかげで、大好きなサッカーを全力で頑張ることができました。高校卒業後もサッカーを続けたいと思います。

寄附していただき、本当にありがとうございます。これからもよろしく願います。

私もついに高校3年生となり、いわゆる受験生となりました。まだまだ大丈夫だろうと余裕を持っていた2年生の頃に戻って、勉強し直したいくらいに焦っています。

ここまでの高校生活を振り返ってみると、吹奏楽部として多くのイベントに参加させていただきました。更に、柔道部として高総体の畳を踏むことができ、他の生徒よりも濃密な高校生活を送っていると自負しております。

これからの人生をより濃密なものにする為には、志望校合格が必須であると考えています。最近はやくまで学校に残り勉強したり、スマートフォンを使用する時間を制限したりと、学習に対して前向きになっている反面、まだまだ結果が目に見えていないのが現実です。いつか結果が出ることを信じて、日々精進していきたいです。

私が充実した高校生活を送り、進路実現に向けて目標を立てることができるのは、寄附してくださった方々のおかげです。本当にありがとうございます。皆様の期待に答えられるように、これから受験に向けて頑張っていきます。

この度は、私たちに寄附をしていただきありがとうございます。

現在私は高校3年生で、部活動は引退しましたが、野球部に所属し、熱心に活動してきました。甲子園に出場するという目標は叶えられませんでした。そこまでの過程で成長することができました。そして今は大学進学を目指して日々の受験勉強に力を入れて取り組んでいます。今後の人生において、大学での経験はとて大きな糧になると思います。

寄附してくださる皆様方のお陰で今があると思うので、よりよい人生にしていきたいと思います。

私は母子家庭のため、日々一生懸命働いてくれている母にできるだけ負担をかけないようにと考えているので、いわて学び希望基金はとて助かっています。

私はブライダル業界に興味があります。ある動画を見て結婚式は一人一人様々な良い所があり、とて感動しました。それから私はブライダル業界に携わる仕事につきたいと思うようになりました。将来、頼られるようなブライダルプランナーになれるようしっかり学んでいきたいと思っています。

日々生活を送ることができているのは、ご支援いただいた方々のおかげです。寄付してくださった全ての方々に心よりお礼申し上げます。

「いわての学び希望基金」に寄附していただいている皆様、本当にありがとうございます。

2011年、5歳だった私は、東日本大震災により父と祖母を亡くしました。父と祖母がどうなったかも分からず、いつもの日常が壊れたことを受け入れられませんでした。

それから、母と兄と三人で暮らしていく中で、自分は大学まで行くことができるのだろうか、という不安を持つようになりました。その後、「いわての学び希望基金」の存在を知り、私は大学に進学して経営学を学ぶという進路を実現するため、勉強に励むことができます。これも全て「いわての学び希望基金」に寄付していただいている皆様の支援のおかげです。

高校卒業後は大学で経営学、特に公共経営について学び、将来、NPO法人を立ち上げ、過去の自分のように不登校になった人への支援をする活動をしていきたいと考えています。

今まで支援して下さった皆様に誇れるような人になれるようにこれからもがんばっていきます。改めまして「いわての学び希望基金」に寄附していただいた皆さん、ご支援ありがとうございます。

いわての学び希望基金に寄付していただき、本当にありがとうございます。

私は皆さんの支えのお陰で、中学・高校で部活動に打ち込むことができました。これまでの部活動を通して得た経験や視点、考え方は、皆さんの支えなしでは得られませんでした。高校3年となった今は、部活動を引退し、進路達成のために勉学に励んでいます。

震災では、住んでいた家と通っていた保育園が全壊したため、内陸に数か月避難した後、沿岸に戻り、母が新たに借りた家から別の保育園に通園しました。大変なこともありましたが、多くの人に支援していただき、今は落ち着いて暮らしています。今後は、常に周りの方々に支えられていることに感謝し、支える側となれるように努力していきたいです。

「いわての学び希望基金」に寄附していただきありがとうございます。

これまで、部活動や教科書のご支援をいただき、充実した高校生活を送ることができました。今は、自分の希望する事業所に就職できるよう、就職試験に向けて頑張っています。私は、将来、販売職でたくさんの人を笑顔にさせたいと思い、高校の学習を頑張っています。

東日本大震災では、たくさんの人に支援していただいたので、今度は自分が支える側になって、たくさんの人を助けられるような人になりたいと思います。そして、恩返しをできるように生活していきます。本当にありがとうございます。

いわての学び希望基金に寄附していただき、ありがとうございます。皆様のおかげで何不自由なく過ごすことができます。本当に感謝しています。

震災当時は5歳だったため、深く理解することはできませんでしたが、当時の状況は今でも鮮明に記憶に残っています。高校3年生になった今だからこそ、両親の苦労や、皆様のご支援のありがたさをよく理解することができます。

高校卒業後は、自分自身の行動力が試される場面が増えていくと思いますが、皆様に何らかの形で恩返しできるよう、積極的に行動していきます。ご支援いただき、本当にありがとうございます。